

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2023年11月14日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）
【会社名】	カナレ電気株式会社
【英訳名】	Canare Electric Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 正敬
【本店の所在の場所】	愛知県日進市藤枝町奥廻間1201番地10
【電話番号】	0561-75-3001（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員財務経理担当 祖父江 秀行
【最寄りの連絡場所】	愛知県日進市藤枝町奥廻間1201番地10
【電話番号】	0561-75-3001（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員財務経理担当 祖父江 秀行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期 連結累計期間	第51期 第3四半期 連結累計期間	第50期
会計期間	自 2022年1月1日 至 2022年9月30日	自 2023年1月1日 至 2023年9月30日	自 2022年1月1日 至 2022年12月31日
売上高 (千円)	8,131,878	9,040,467	11,167,637
経常利益 (千円)	807,683	1,170,281	1,260,500
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	537,906	848,333	868,940
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,015,485	1,299,868	1,193,928
純資産額 (千円)	15,516,102	16,766,717	15,694,544
総資産額 (千円)	17,642,528	19,075,763	17,731,286
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	79.70	125.22	128.74
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	87.9	87.9	88.5

回次	第50期 第3四半期 連結会計期間	第51期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2022年7月1日 至 2022年9月30日	自 2023年7月1日 至 2023年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	32.80	48.46

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、インフレの進行や長引くロシア・ウクライナ情勢によって原油高や物価高が進み、経済環境の不安定な状況が続きました。

こうした状況下、当社グループは、原材料の高止まりや供給不足へ対応すると同時に、光製品や電子機器の新製品普及活動、AVコンソール製品などの販促活動を積極的に行うとともに、次世代成長製品と位置付けるITネットワーク関連製品など新規製品の開発活動に取り組んでまいりました。

その結果、国内の売上は前年同期を上回り、海外でも中国での売上が上向いたことや、円安の為替影響が継続したことから好調となっており、全体でも増収増益となりました。

以上により、連結売上高は9,040百万円(前年同期比11.2%増)となり、利益面でも増収に伴い営業利益1,119百万円(前年同期比51.2%増)、経常利益1,170百万円(前年同期比44.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益848百万円(前年同期比57.7%増)となりました。

また、主なセグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

日本市場は、放送市場ではNHK放送センター建替工事事業で部材納入が始まり、地方放送局やラジオ放送局のシステム更新物件が継続しております。電設市場では男子プロバスケットボール用アリーナ大型映像システム向け販売が堅調で、売上高は4,686百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益も増収などにより490百万円(前年同期比11.0%増)で増収増益となりました。

米国

米国市場は、放送市場において4K制作設備の更新物件が継続し、システムインテグレータやディーラ向けに当社製品の納入が堅調で、売上高は1,214百万円(前年同期比26.6%増)、セグメント利益も増収等により195百万円(前年同期比148.6%増)で増収増益となりました。

韓国

韓国市場は、インフレの影響により景気減速傾向の中、放送市場においては4K放送設備の更新物件遅延や規模縮小があったものの、市販及び電設市場が堅調で全体をカバーし、売上高は801百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益も増収などにより117百万円(前年同期比16.7%増)で増収増益となりました。

中国

中国市場は、新型コロナウイルス感染症収束後、放送市場・電設市場で物件数が増加し、売上高は1,030百万円(前年同期比20.7%増)、セグメント利益も増収などにより171百万円(前年同期比56.8%増)で増収増益となりました。

シンガポール

東南アジア市場は、新型コロナウイルス感染症収束後、放送及び電設市場においてはシステムインテグレータやディーラ向けに当社製品の納入が堅調であったほか、市販ディーラ向け販売も堅調で、売上高は421百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益も増収等により71百万円(前年同期比24.8%増)で増収増益となりました。

当第3四半期末における財政状態につきましては、増収増益に伴う現金及び預金、売掛債権や在庫の増加によって、資産合計は前連結会計年度末に比して1,344百万円増の19,075百万円となりました。負債合計につきましては、第3四半期連結累計期間の納税によって未払法人税等が減少したものの仕入増に伴う買掛金の増加や賞与引当金の増加があり、前連結会計年度に比して272百万円増の2,309百万円となりました。純資産合計につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加と為替換算調整勘定の増加により、1,072百万円増の16,766百万円となりました。

(2) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、436百万円であります。
なお、2023年5月31日付で当社の光デバイス開発部を廃止いたしました。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,092,200
計	23,092,200

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2023年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2023年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,028,060	7,028,060	東京証券取引所 スタンダード市場	単元株式数 100株
計	7,028,060	7,028,060	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
2023年7月1日～ 2023年9月30日	-	7,028,060	-	1,047,542	-	262,000

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2023年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2023年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 227,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,795,500	67,955	-
単元未満株式	普通株式 5,360	-	-
発行済株式総数	7,028,060	-	-
総株主の議決権	-	67,955	-

【自己株式等】

2023年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
カナレ電気(株)	愛知県日進市藤枝町奥廻間1201番地10	227,200	-	227,200	3.23
計	-	227,200	-	227,200	3.23

2 【役員】の状況

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期会計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
取締役	伊藤 徹秀	2023年8月31日

(2) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性11名 女性 - 名（役員のうち女性の比率 - ％）

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（2023年7月1日から2023年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,608,272	9,996,505
受取手形及び売掛金	1,273,881	1,397,169
有価証券	99,420	-
商品及び製品	2,457,809	3,000,064
仕掛品	286,386	381,927
原材料及び貯蔵品	250,652	240,839
その他	467,830	606,450
貸倒引当金	6,715	2,007
流動資産合計	14,437,536	15,620,950
固定資産		
有形固定資産		
土地	802,252	807,465
その他	4,014,384	4,041,975
減価償却累計額	2,474,682	2,582,171
有形固定資産合計	2,341,954	2,267,269
無形固定資産		
12,731		11,204
投資その他の資産		
その他	939,479	1,180,831
貸倒引当金	416	4,492
投資その他の資産合計	939,063	1,176,339
固定資産合計	3,293,749	3,454,813
資産合計	17,731,286	19,075,763
負債の部		
流動負債		
買掛金	555,007	691,567
未払法人税等	240,425	142,204
賞与引当金	75,006	171,117
役員賞与引当金	20,735	20,303
その他	872,940	1,011,518
流動負債合計	1,764,114	2,036,711
固定負債		
製品保証引当金	468	468
役員退職慰労引当金	50,705	50,501
退職給付に係る負債	21,292	24,037
その他	200,161	197,328
固定負債合計	272,627	272,335
負債合計	2,036,741	2,309,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,177,110
利益剰余金	13,285,332	13,842,255
自己株式	335,601	273,786
株主資本合計	15,172,484	15,793,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,149	151,761
繰延ヘッジ損益	868	663
土地再評価差額金	371,051	371,051
為替換算調整勘定	849,093	1,193,547
その他の包括利益累計額合計	522,059	973,594
純資産合計	15,694,544	16,766,717
負債純資産合計	17,731,286	19,075,763

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,131,878	9,040,467
売上原価	5,013,997	5,248,625
売上総利益	3,117,881	3,791,842
販売費及び一般管理費	2,377,162	2,671,898
営業利益	740,718	1,119,944
営業外収益		
受取利息	17,193	30,030
受取配当金	5,831	6,182
不動産賃貸料	3,942	4,708
為替差益	30,510	5,895
投資事業組合運用益	2,083	1,851
物品売却益	-	16,511
その他	15,769	5,550
営業外収益合計	75,329	70,729
営業外費用		
支払利息	1,547	3,697
不動産賃貸原価	4,333	4,304
投資事業組合運用損	454	5,635
その他	2,029	6,755
営業外費用合計	8,364	20,393
経常利益	807,683	1,170,281
税金等調整前四半期純利益	807,683	1,170,281
法人税、住民税及び事業税	327,321	356,646
法人税等調整額	57,544	34,698
法人税等合計	269,777	321,947
四半期純利益	537,906	848,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	537,906	848,333

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	537,906	848,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,248	108,612
繰延ヘッジ損益	2,206	1,531
為替換算調整勘定	478,537	344,454
その他の包括利益合計	477,579	451,534
四半期包括利益	1,015,485	1,299,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,015,485	1,299,868
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
減価償却費	136,670千円	169,012千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年3月18日 定時株主総会	普通株式	114,742	17.00	2021年12月31日	2022年3月22日	利益剰余金
2022年7月28日 取締役会	普通株式	101,243	15.00	2022年6月30日	2022年9月12日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月17日 定時株主総会	普通株式	134,990	20.00	2022年12月31日	2023年3月20日	利益剰余金
2023年7月28日 取締役会	普通株式	156,419	23.00	2023年6月30日	2023年9月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	4,483,660	959,382	757,420	853,328	115,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,091,474	-	-	499,682	-
計	6,575,135	959,382	757,420	1,353,010	115,426
セグメント利益又は損失()	442,264	78,820	100,679	109,472	19,981

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	357,449	7,526,668	605,210	8,131,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,591,156	-	2,591,156
計	357,449	10,117,825	605,210	10,723,035
セグメント利益又は損失()	57,037	808,255	46,326	854,581

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	808,255
「その他」の区分の利益	46,326
セグメント間取引消去	730
棚卸資産の調整額	138,258
その他の調整額	23,664
四半期連結損益計算書の営業利益	740,718

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	4,686,330	1,214,901	801,275	1,030,243	78,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,271,841	-	-	601,175	-
計	6,958,171	1,214,901	801,275	1,631,419	78,653
セグメント利益又は損失()	490,860	195,930	117,483	171,617	6,522

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	421,599	8,233,005	807,462	9,040,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	315	2,873,332	165	2,873,498
計	421,915	11,106,337	807,628	11,913,966
セグメント利益又は損失()	71,198	1,053,612	108,372	1,161,984

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,053,612
「その他」の区分の利益	108,372
セグメント間取引消去	11,749
棚卸資産の調整額	82,342
その他の調整額	28,553
四半期連結損益計算書の営業利益	1,119,944

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
製品分類別					
ケーブル	1,065,938	317,609	505,940	400,484	69,024
ハーネス	1,379,867	140,143	48,287	142,162	18,032
パッシブ	729,748	275,220	59,766	130,483	7,629
コネクタ	548,769	222,635	95,846	105,427	14,900
電子機器	452,769	2,607	15,867	9,227	1,693
他社購入品等	306,567	1,165	31,712	65,543	4,145
顧客との契約から生じる収益	4,483,660	959,382	757,420	853,328	115,426
外部顧客への売上高	4,483,660	959,382	757,420	853,328	115,426

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
製品分類別				
ケーブル	241,795	2,600,793	215,985	2,816,778
ハーネス	14,731	1,743,226	117,470	1,860,696
パッシブ	48,671	1,251,520	116,936	1,368,456
コネクタ	48,731	1,036,311	88,502	1,124,813
電子機器	464	482,630	19,961	502,591
他社購入品等	3,053	412,187	46,354	458,542
顧客との契約から生じる収益	357,449	7,526,668	605,210	8,131,878
外部顧客への売上高	357,449	7,526,668	605,210	8,131,878

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
製品分類別					
ケーブル	1,131,305	428,099	534,578	466,474	51,909
ハーネス	1,449,795	156,040	38,663	193,622	11,720
パッシブ	698,262	366,090	51,766	127,820	4,211
コネクタ	529,835	256,309	89,863	152,613	9,663
電子機器	692,365	7,504	35,959	20,701	214
他社購入品等	184,766	856	50,443	69,010	934
顧客との契約から生じる収益	4,686,330	1,214,901	801,275	1,030,243	78,653
外部顧客への売上高	4,686,330	1,214,901	801,275	1,030,243	78,653

	報告セグメント		その他（注）	合計
	シンガポール	計		
製品分類別				
ケーブル	270,390	2,882,757	281,435	3,164,193
ハーネス	47,207	1,897,050	171,995	2,069,045
パッシブ	47,042	1,295,194	169,219	1,464,414
コネクタ	45,377	1,083,662	140,785	1,224,447
電子機器	2,394	759,139	6,250	765,390
他社購入品等	9,187	315,200	37,776	352,976
顧客との契約から生じる収益	421,599	8,233,005	807,462	9,040,467
外部顧客への売上高	421,599	8,233,005	807,462	9,040,467

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）
1株当たり四半期純利益金額	79円70銭	125円22銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 （千円）	537,906	848,333
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額（千円）	537,906	848,333
普通株式の期中平均株式数（株）	6,749,546	6,774,917

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

2023年7月28日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(1) 配当金の総額.....156,419千円

(2) 1株当たりの金額.....23円00銭

(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2023年9月12日

(注) 2023年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年11月13日

カナレ電気株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

名古屋事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂部 彰彦

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 細井 怜

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているカナレ電気株式会社の2023年1月1日から2023年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年7月1日から2023年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、カナレ電気株式会社及び連結子会社の2023年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。